

合同クラスター研究会

国立国際医療研究センター×東京都医工連携HUB機構 (平成28年度クラスター研究会 海外ニーズ編)

開催報告

2016年10月4日(火) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター(以下NCGM)にて、今年度4回目となる、東京都医工連携HUB機構と臨床機関との合同クラスター研究会を開催いたしました。NCGMから21名の医療者の方々、ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから約130名の方にご参加いただきました。お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。

合同クラスター研究会

NCGMの各科より総勢9名の医療者に、3グループに分かれたうえで計25テーマの臨床ニーズについてご発表いただきました。各発表におかれては、海外の臨床現場の現状や具体的なお困りごと、先生方の熱い思いをお話しいただきました。各グループの発表後には名刺交換の時間を設け、多くの参加者が医療者のもとを訪れ、終了間際まで名刺の交換が行われました。

また、今回はNCGMの医療者による特別講演に加え、東京大学医学部附属病院より2名の医療者をお招きし、基調講演及び特別講演を行っていただきました。

第1グループ

中央検査部門、国際診療部、脳神経外科より3名の医療者が出席し、計7テーマについて発表いただきました。

第2グループ

国際医療協力局、皮膚科より4名の医療者が出席し、計15テーマについて発表いただきました。

第3グループ 及び 特別講演

薬剤部、臨床研究推進部より2名の医療者が出席し、計3テーマについて発表いただきました。また、臨床研究推進部 教育研修室 教育研修室長の松下 由実氏には臨床ニーズ発表に加え、特別講演をおこなっていただきました。

基調講演

東京大学医学部附属病院より形成外科・美容外科教授の光嶋 勲氏をお招きし、基調講演をおこなっていただきました。

特別講演

東京大学医学部附属病院より国際診療部講師の山田 秀臣氏をお招きし、特別講演をおこなっていただきました。



医療者による発表の様子



会場内客席の様子



発表後の名刺交換の様子

医療者等との交流会

交流会では、発表いただいた医療者と参加者による名刺交換、および情報交換が活発に行われました。HUB機構シーズデータベースに登録されている企業の製品、技術情報のリスト配布、製販企業によるショートプレゼンテーションを通じて、各社の製品、技術をご紹介いただきました。次回以降も交流会を開催し、臨床機関の医療者とご参加される団体様、企業様との意見交換の場として、ご活用していただく予定です。



交流会の様子

■ショートプレゼンテーションを行っていただいた製販企業

- ①アルケア(株) ②(株)三協 ③フジタ医科器械(株) ④三菱製紙(株)

★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

- ・貴重な基調講演、特別講演をありがとうございました。 ・今後とも合同クラスターを続けてください。

皆様からのご意見を参考に、クラスター研究会をより充実した内容にまいります。
次回は、記念クラスター研究会を11月15日(火)に開催します。どうぞご参加ください。